



HEART CHECK 

ハートチェック[®] サービス

ハートチェックと NT-proANP を活用して健康検査を行っています。
ハートチェックをどのように日常の診察にご活用いただいているのかについてインタビューを実施しました。導入のきっかけや診療への活用法など様々なお声をいただきましたので、ぜひ導入検討のご参考にご一読ください。



2023年8月から導入 **なないろ動物病院 様**

〒984-0017 宮城県仙台市若林区なないろの里1丁目19-3

院長 **伊藤 智先生**

ご経歴

仙台第二高等学校 卒業
北里大学獣医畜産学部獣医学科 卒業
宮城県入職（宮城県畜産試験場乳牛チーム）
仙都動物病院にて勤務
なないろ動物病院 開院



Q1. ハートチェック導入のきっかけは？

日本臨床獣医学フォーラムの年次大会でその存在を知りました。立位で測定でき、AI が解析結果を返してくれるところが魅力だと感じて導入しました。サブスクなのも魅力ですね。

Q2. ハートチェックをどのように日常の診察に活用していますか？

麻酔前の検査の一環やペットドックでの健康検査に主に活用しています。また、聴診時に雑音を確認された子や聴診上問題なくても不整脈が出ることがあるので、聴診の補助検査としても活用しています。オプションの波形解析サービスも専門医（東京農工大学福島 隆治 先生）が見解を返してもらえるので、自分の見解との答え合わせができるので助かっています。

Q3. ハートチェックを飼い主様にどのように勧めていますか？

院内にポスターを掲示しています。ポスターを見た飼い主様が「いままで測定したことがないので測定してみたい」との要望が多いです。手軽に測定できるところと AI 解析が行われるところが新しく、飼い主様にも評判が良いです。また、特に意識が高い飼い主様にはハートチェックと NT-proANP を検診に組み込んでセットで測定しています。

Q4. ハートチェック測定時に、特に気をつけていることはありますか？

肉球をよく塗らして足をしっかりシートに付けることに気を遣っています。また、嫌がらない部分で足を抑えることや飼い主様が一緒に居れば落ち着く子には一緒にいて居ていただくなど、工夫しています。

Q5. 測定に関する院内オペレーションで工夫していることはありますか。

測定は獣医師指導の元、愛玩動物看護師が担当しています。おとなしい子なら 1 人で測定できるので助かっています。担当者によって上手く測れないなどのトラブルもなく、特に測定が難しいとの認識はないです。また、誰が測定しても同じ結果が得られる安心感もあります。

Q6. ハートチェックを受けられた飼い主様の反応はいかがですか？

レポートを印刷して飼い主様にお渡ししています。レポート自体が見やすく、記載内容も分かりやすいので評判が良いです。

Q7. ハートチェックの測定頻度はどの程度ですか？

半年から 1 年ごとに定期的に測定しています。

Q8. ハートチェックの AI 解析結果がもとで、心疾患の発見につながったなどの例はありますか？

はい、先日、QRS 幅延長・R R 間隔不規則・R 幅拡大などの検出から発見につながった症例がありました。特に症状がない子でしたが、異常の検知に繋がり他検査での精査に至ることができました。聴診や精密検査で現時点において異常がなくても、ハートチェックや NT-proANP の結果で罹患リスクが高まっていることが示されれば、臨床症状にあわせた経過観察を実施しています。また、ハートチェックや NT-proANP の測定を行うことで飼い主様の心疾患に対する意識が高まって、気になることがあれば来院されるなど、早期発見につながっていると感じています。

Q9. ハートチェック最大の魅力は？

サブスクのためコストパフォーマンスが良く、ストレスフリーなこと、置き場所を取らないことですね。

Q10. 今後、ハートチェックに期待することはありますか？

仕方ないと思うのですが、どうしても震えを拾ってしまうので、この点が改善できれば嬉しいです。

物産アニマルヘルス 開発担当者より

震えについては今後改良を検討してみます。

